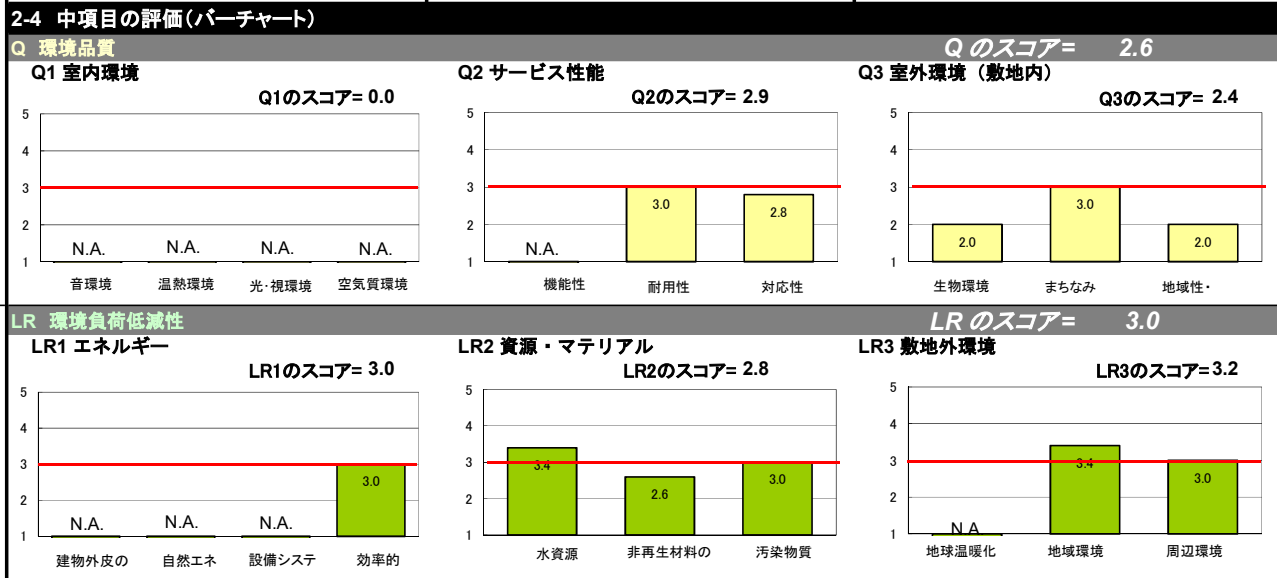
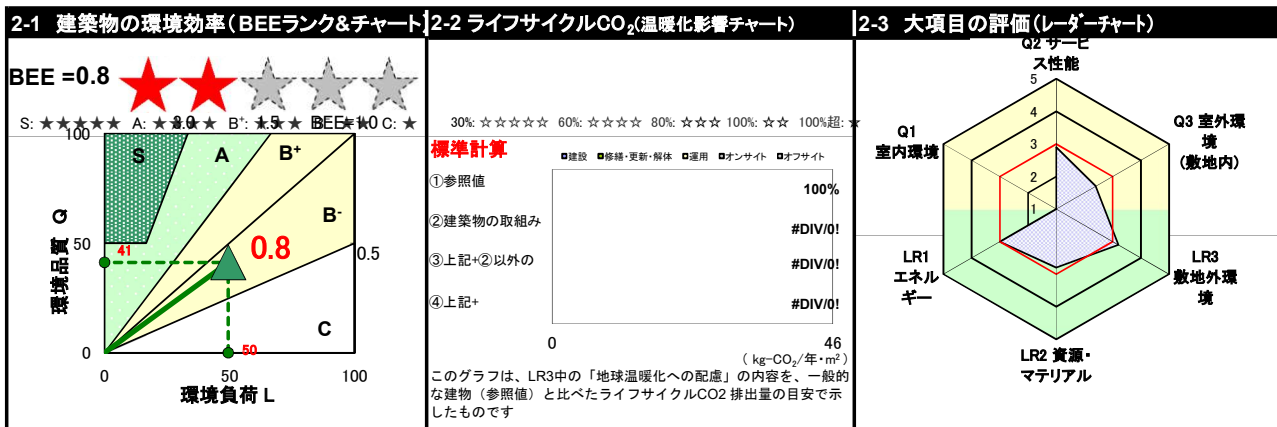
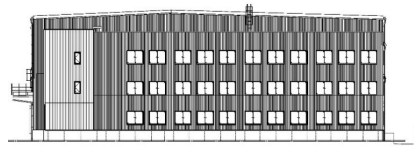


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(原称)ジャパンガス株式会社小田原減菌センター新築工事	階数	地上2F
建設地	小田原市鬼柳字砂田261他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年12月2日
敷地面積	9,145 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)関東横浜建築一級建築士事務所
建築面積	4,065 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月2日
延床面積	4,350 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)関東横浜建築一級建築士事務所



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
神奈川県道711号線沿いの工業地域内に、自社工場及び事務所の複合用途によるS造・2Fの建物を計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 耐用年数の長い内装材及び空調・給排水配管を使用。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 節水型便器、擬音装置、自動水栓の採用	LR3 敷地外環境 駐輪場(バイク含む)及び荷捌き用車両の駐車施設を確保している。 車両出入口はIN・OUT共それぞれワウイの専用にして、周辺道路の渋滞緩和対策としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される